



申 立 て の 趣 旨

相手方は、申立人に対し、相手方が被相続人甲野太郎から遺贈を受けた別紙遺産目録記載の土地及び建物につき、その時価の2分の1に相当する物件を返還すると  
の調停を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 被相続人甲野太郎（本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地）は、その配偶者英子死亡後の平成〇年ころから相手方と同棲し内縁関係にありましたが、平成〇年〇月〇日に相手方の住所において死亡し、相続が開始しました。相続人は、被相続人の長男である申立人だけです。
- 2 被相続人は、別紙遺産目録記載の土地、建物を相手方に遺贈する旨の平成〇年〇月〇日付け自筆証書による遺言書（平成〇年〇月〇日検認済み）を作成しており、相手方は、この遺言に基づき、平成〇年〇月〇日付け遺贈を原因とする所有権移転登記手続をしています。
- 3 被相続人の遺産は、別紙の遺産目録記載の不動産だけであり、他に遺産及び負債はありません。また、前記遺言の他に遺贈や生前贈与をした事実もありません。
- 4 申立人は、相手方に対し、前記遺贈が申立人の遺留分を侵害するものであることから、遺産の2分の1に相当する物件の返還を求めましたが、相手方は話合いに応じようとしないので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。





遺 産 目 録

【現金, 預・貯金, 株式等】

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
1	現金		424,534円	
2	〇〇銀行〇〇支店 定期預金 (口座番号 〇〇〇〇〇〇〇)		1,250,000円	
	ゆうちょ銀行 定額貯金 (記号〇〇 番号〇〇〇〇〇〇)		1,035,000円	